

# 人権教育だより

栃木県教育委員会事務局教育政策課人権教育室

## 『人権教育の授業の実践』の御紹介

栃木県教育委員会では、全ての学校全ての地域において計画的に人権教育が推進されるよう、人権教育の研究指定や人権教育指導者専門研修等を通じて、人権教育に関する指導方法の改善・充実を図っています。今回は、これまでの研究校や指導者専門研修終了者が在籍する各地区の中核的な人権教育推進校における今年度の先進的な取組について御紹介いたします。

特に、県教育委員会が作成し、活用を推奨しているデジタル教材「人権の窓」を積極的に活用した実践が多数ありますので、教材のテーマである「男女共同参画」や「外国人との共生」に関連した授業において参考にしてください。

### 実践例 1 県立学悠館高等学校(定時制)

教科・科目等 公民科・倫理（1～3学年 10名） ※単位制

本時の目標 受動態の文構造理解を通して多文化共生と人権に対する理解を深める。

#### 育てたい資質・能力等

- 外国人の特性から日本における文法理解に起こりうる問題点を互いに理解することができる。（知性）
- 受動態の例文を通して日常場面で自分の思いや考えを伝えることができる。（技能）
- クラスにいる外国人生徒の気持ちや立場になって考え、問題を解決しようとする。（実践力）

教材 教科書、ワークシート、アンケート

#### 展開

- 10名のうち3名が外国人の生徒である。3名の生徒にとって理解が難しいことを考える。（アンケート活用）
- クラスメイトとして何を助言できるかを考える。また、外国人から日本人への問題解決方法があれば伝える。



←活動の様子

- 外国人の生徒が直面する授業中の困りごとについて、どのようなことに注意していけるかを確認する。
- 異文化理解に向けた意識を互いに高め合えるようにする。

## 実践例2 益子町立益子小学校

教科・科目等 外国語（6学年）

本時の目標 イスラム教徒の A さんのために給食のおかずを考えて伝え合うことができる。

育てたい資質・能力等

他国の言葉を学習することにより、外国語やその背景にある文化に対する理解を深め、他国の人も尊重することができる。（知性）

実施時間 1 時間

教材 「人権の窓」（外国人の人権編）（小学生上学年用）、ワークシート

展開

●人権の窓「どうして給食を残すの？」を見て、A さんがどうして給食をほとんど残すのかを考える。宗教により、食事に関する大切なルールがあることを知る。



Aさんはイスラム教という宗教を信仰（しんこう）しています。食事に関するルールとして、

- ・豚肉を食べたりお酒を飲んだりしてはいけません
- ・ラマダンの時期（太陰暦で9月）は、日の出ている間の食事をしない

ということを大切にしています。

※本図解「たいいんれき」イスラム教の食で禁められている期間「こよみ」。毎月開始がずれています。2024年のラマダンは、日本の暦で3月始まり、満月を待たなければなりません。

次へ

●給食の写真を見て、A さんが食べられないメニューを知り、A さんが食べられるおかずを考える。



●考えたおかずを伝え合う。既習事項である「like」や「can」「know」などの表現を使いながら、紹介したりたずねたりする。

A: This is (C)(E)(B) soup.

B: What's (C) ?

A: (C) is for Corn .

B: Where is it from?

A: It's from Mexico.

Mexico is in North America.

6th Unit5 Where is it from? Name

☆A さんのおかずを考えよう。

|           |      |
|-----------|------|
| (C)(E)(B) | soup |
|           |      |

| Initial<br>(大文字) | 食材   | 産地(生産国)  |
|------------------|------|----------|
| (C)              | corn | Mexico   |
| (E)              | egg  | Tochigi  |
| (B)              | beef | Hokkaido |

●伝えられた内容や難しかった表現を振り返る。

●相手によって考えるメニューが変わることに気づき、理解を深める。

## 実践例3 小山市立乙女中学校

教科・科目等 社会科・公民的分野（3学年）

### 本時の目標

現代社会の男女の平等について科学的に考察し、性別問わず自分らしく生きるためにどのようなことが大切か判断し、表現することができる。

### 育てたい資質・能力等

男女の権利がそれぞれ守られ、自分らしく生きるためにはどのようなことが大切であり、必要か考える。（判断力）

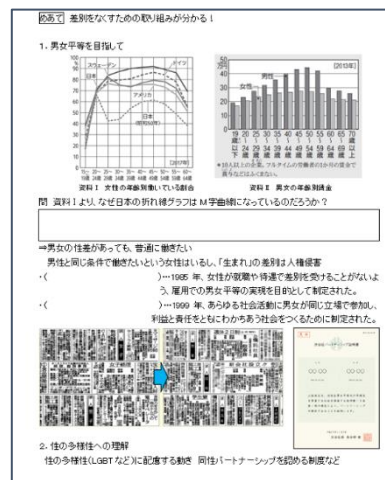
教材 「人権の窓」（男女共同参画編）レガシー版（中学生用）、人権作文

### 展開

- 級友の人権作文を黙読する。
- 現代社会の男女の差を考え、男女雇用機会均等法及び男女共同参画社会基本法について、教科書やワークシートを使って学習する。
- 「人権の窓」（男女共同参画編）を活用し、ジェンダー平等や日本のジェンダーギャップ指数などを理解する。
- 性別を問わず「自分らしく」生きるためにはどのようなことが必要か考え、話し合う。



↑活動の様子



↓生徒の意見

・性別によるイメージ、へんげんを持たない。  
・自分の考えを説く勇氣  
・周りの目を気にしない  
・声を上げる、個性、能力を尊重する。  
・「おかし」と感じない

・「偏見」を持たないこと  
・自分らしさを貫く  
・男女によての差があるという事実を知っておくこと

・少しでもあかしく思ったら 自ら声を上げること  
・性別が違うからという理由で差別されるのでは  
なく、個人の能力や個性を大切にすること。  
・自分と異なる考えの人について、「否定」するのではなく「尊重」する。「偏見」をなくすること。

・男女関係ないに 自分の意見を言う。  
・授業などでこのような内容(人権やLGBT)について勉強することがなくなるくらい平等な世界をつくること。  
・偏見をなくす  
・人の目を気にしない  
・個性、能力を大切

## 実践例4 上三川町立上三川中学校

教科・科目等 道徳 異文化の人と生きる（1学年）

本時の目標 異文化を尊重し、理解し合おうとするための判断力を育てる。

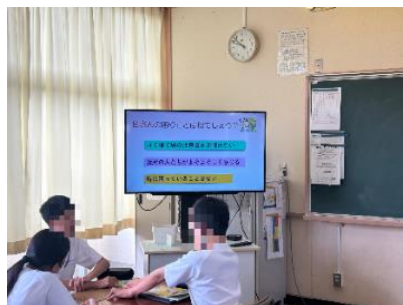
育てたい資質・能力等

自分の意見も他人の意見も尊重し、受け入れながら話し合うことができる。（技能）

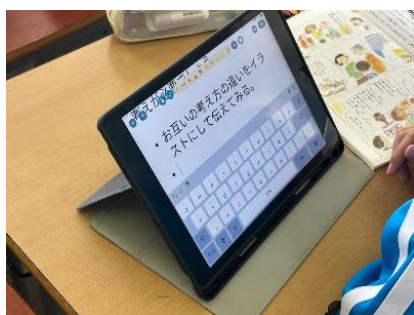
教材 「人権の窓」（外国人の人権編）（中学生用）、ワークシート、タブレット

展開

- 外国人と関わった経験を振り返る。
- 「人権の窓」（外国人の人権編）を大型TVに映し、現状の課題や解決策などを生徒とともに考察し、ディスカッションする。



↑ 活動の様子



### ●指導上の留意点

#### ○主体的な学び

- ・自分だったらどうするかという立場で考えさせる。

#### ○対話的な学び

- ・他者の多様な考え方にふれて、自分自身の考えを広げたり深めたりするよう促す。
- ・補助発問を適宜投げかけて（例 相手を受け入れる態度だけがあればいいのか など）、互いにとって豊かな関係性を築くために必要な考えに気付かせるなどの工夫をする。

立場の違いを色分けして考察した。

## 実践例5 県立真岡高等学校

教科・科目等 総合的な探究の時間（1 学年）

### 本時の目標

男女の役割を固定的に捉える意識や、社会生活の様々な場面において女性が不利益を受けている現状を理解し、それらの問題を受容したり、考えたりすることができる感受性を養う。

### 育てたい資質・能力等

男女間の差別の不当性を見極め、状況を適切に判断する。（判断力）  
その差別に対する悲しみや怒りを受容することができる。（感受性）

教材 「人権の窓」（男女共同参画編）（高校生用）、ワークシート

### 展開

- 日本のジェンダーギャップ指数と栃木県の男女間の賃金格差をもとに現状と課題を確認する。
- 身のまわりにある男女間の違いについて話し合い、その合理性について協議する。
- 「合理的ではないもの」について問題点や、それぞれがどのように向き合うのか協議する。
- 「G7 栃木県・日光こども未来サミットの取組」について説明し、同年代の生徒たちの動き・考えについて確認する。
- 「人権の窓 チェックリスト」を活用しながら、学習についての振り返りを行う



↑ 活動の様子

### ●生徒の感想

- ・『カジダン』などといった言葉のくくりは差別を助長するものになっているのではないかと今回感じたと同時に、すべての人が自分の思うように生きることの難しさも感じました。
- ・「生きやすさ」が求められる時代になってこそ、主張が強くなってきた「人権問題」。私たちはその最初の舵取りを時代から託されているような気がしました。
- ・男女関係なく好きなこと得意なことを社会のためにできるような社会になってほしいと思いました。

## 実践例6 県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園

教科・科目等 ホームルーム活動（2学年）

### 本時の目標

地域の中で暮らす外国人の現状を知り、日常にある人権上の課題に気付く。  
共生社会を実現するために、自分ができる行動を考えて実践しようとする意欲を育てる。

### 育てたい資質・能力等

相手の立場に立って考えたり行動したりする重要性に気付き、実践しようとする。（実践力）

教材 「人権の窓」（外国人の人権編）（小学生用（上学年）中学生用・高校生用）、ワークシート

### 展開

●日本と海外の国々のじゃんけんを体験したり、多様化する社会の現状について知ったりする。



●『「ゴミ捨てのルール」どう伝えますか?』のスライドを見て、外国人がどのようなことに困っているかを考える。また、ルールがあることを知らせるために自分ならどう行動するか、どのような言葉を掛けるかを考える。



●「何気ない言動から」のスライドを見て、どのように人間関係を築いたらよいかを考える。

| 人権について考える時間                                                                         | 月 | 日 | 名前 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----|
| 1. じゃんけんをしよう ①日本 ②アメリカ ③韓国 ④ベトナム                                                    |   |   |    |
| 2. カタカナ語は通じますか??                                                                    |   |   |    |
| 3. 栃木県内に住む外国人の現状について知ろう。<br>県内の外国人は想像していたより（多い・少ない）<br>県内の外国人の出身地域は想像していたより（多い・少ない） |   |   |    |
| 4. なんて言おうかな、やさしい日本語。<br>①ゴミ捨てのルールを伝える                                               |   |   |    |
| ②ゴミ捨てのルールを伝える                                                                       |   |   |    |
| 5. 何気ない言動から                                                                         |   |   |    |
| 6. チェックリストで確認しよう。特に気を付けていきたいことに印をつけよう。                                              |   |   |    |



### 5. 何気ない言動から

Aさんの積極性をふまえながら、より相手を大切にしたい関係を築くために必要なことは何か、考えを書きましょう。

相手に伝えたいことを考えてから話すこと

最初から相手のことについて聞くのではなくてまずは自分のことを伝える。

●学習をとおして感じたことや、自分の中で変化したことをまとめる。

## 実践例7 県立今市特別支援学校

教科・科目等 生活単元学習（高等部1～3学年） ※グループ別学習

### 本時の目標

「男女平等」について考え、自分や周りの人を大切にするためにできることを知る。

### 育てたい資質・能力等

身の回りにある男女差別に気づき、人権の大切さがわかる。（知性）

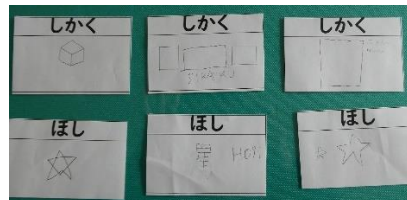
教材 ワークシート、男女平等についてのスライド

### 展開

●「しかく」や「ほし」を書く活動をとおして、ものの見方や考え方、感じ方が人それぞれ違うことを知る。

1 人権とは何か考え知る

「物の見え方」や「考え方」、  
「感じ方」はそれぞれ違います。  
自分の考え方に自信をもって、人権  
について考えていきましょう



↓ワークシート

人権教育 2024.12.10

名前：\_\_\_\_\_

〇めあて

- 1 人権とは何か考え、知ろう。
- 2 「男女平等」について考えよう。
- 3 私たちができることを知る。

1 人権とは何か

(1) 誰のためのもの？ → \_\_\_\_\_

(2) どんなもの？ → \_\_\_\_\_

\*人権は、人種や \_\_\_\_\_ にかかわらず、すべての  
人のもっている権利

世界の昔には、どんな人権問題があったか。

2 男女平等について考える

① 女の人

② 男の人

●「男の人」「女の人」のイメージについて考える。

女の人

子どもを産んでる

服をよく買う

男の人

お金をかせぐ

ゲームや動画をよく  
見たりしている人がある。

2 男女平等について考える。

男の人、女の人という性別だけで、  
知らないうちにイメージを作っているとき  
がある。

2 男女平等について考える。

イメージをもつことは、個人の自由です。

だけど・・・「男だから〇〇やって当然」  
「女だから〇〇が得意で当たり前」



●自分や周りの人を大切にするためにできることを知る。

3 私たちができること

① \_\_\_\_\_ をもたずに生活すること。

② 信頼できる人に \_\_\_\_\_ をすること。

## 実践例8 県立小山城南高等学校

教科・科目等 地理歴史科・日本史探究（3学年選択者）

### 本時の目標

平塚らいてうらの動きを通して、解放運動の経緯や目的について理解することができる。

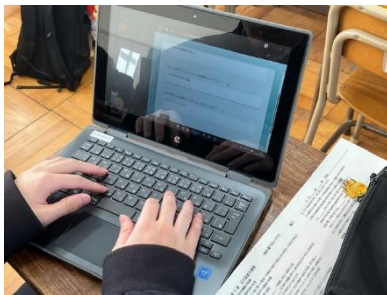
### 育てたい資質・能力等

これまでの女性の歴史や、当時女性が置かれていた問題を正しく理解する。（知性）  
差別が起きたり、権利が認められなかったりした女性の悲しみ、それを変えるために立ち上がった人々の勇気などを想像する。（感受性）

教材 教科書、資料集、ワークシート、タブレット PC

### 展開

- 女性の社会的地位の歴史と時代背景について振り返る。
- 平塚らいてうの主張した権利について、teams で意見を共有する。



←学習の様子

- なぜ、このような主張がされたのかをグループごとに話し合い、意見を発表する。
- forms で男女平等な社会を構築するために大切なことは何かについてまとめる。
- 学習後の変容

学習前は、女性の置かれていた状況への理解に留まっていた。特に男子生徒へは立場を逆にして考えさせることで「これから男女が平等な生活を送るためにはどうしたら良いか」について、意見交換を行っていた。取りまとめた意見の中には「性差による配慮はされるべきだが、その延長線上に差別が存在するのかもしれない」など、発展的な思考をする生徒もいた。

## 実践例9 県立小山南高等学校

教科・科目等 ホームルーム活動（1～3学年）

### 本時の目標

グローバル化する現代社会において、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性を理解する。

### 育てたい資質・能力等

外国人が日本で生活する上での「生きにくさ」を把握し、日本に住む人間としての配慮事項について理解する。（知性）

教材 タブレット PC、「人権の窓」（外国人の人権編）（高校生用）

### 展開

●人権教育講演会「『子どもの権利条約』と人権について」の講話を聞く。講話の内容を振り返りながら、「人権の窓」（外国人の人権編）の内容について学習する。

●栃木県内の在住外国人の人数を知り、「多文化共生社会」の必要性を確認する。



●人権の窓（外国人の人権編）【2. 考えよう】の「ゴミ捨てのルール」を見て、双方が困っていることを解消するためにできることについて考える。



※生徒会役員は JICA 筑波高校生国際協力実体験プログラムに参加し、そこで学習した「多文化共生」についての内容と関連付けて今回の学習を行っています。

## 実践例 10 県立矢板東高等学校(定時制)

教科・科目等 公民科・公共（1 学年）

### 本時の目標

選挙権を通して、戦前と戦後でどのように政治・憲法に対する見方が変わったのかについて理解する。また、選挙の際に気をつけるべきことは何か考える。

### 育てたい資質・能力等

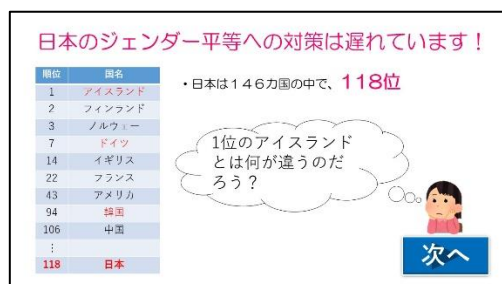
選挙権の拡大とそれに伴う女性の政治参加の過程について知る。（知性）

教材 教科書、タブレット PC、「人権の窓」（男女共同参画編）（高校生用）、ワークシート

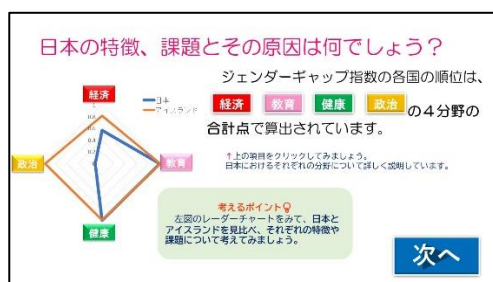
### 展開

●参政権や国務請求権など、基本的人権を確保するための権利について学びながら、ワークシートに取り組む。（公共の教科書、ワークシート）

●女性の投票権に関連し、現代の日本のジェンダーギャップ指数について触れる。



●ジェンダーギャップ指数を見て、日本の現状と課題を確認する。



【人権の窓】ワークシート表（高校生用）

1. 学習しよう

2. 考えよう

3. 調べよう

4. 発表しよう

5. 振り返り

6. 評価

7. 総括

8. 総括

9. 総括

10. 総括

11. 総括

12. 総括

13. 総括

14. 総括

15. 総括

16. 総括

17. 総括

18. 総括

19. 総括

20. 総括

21. 総括

22. 総括

23. 総括

24. 総括

25. 総括

26. 総括

27. 総括

28. 総括

29. 総括

30. 総括

31. 総括

32. 総括

33. 総括

34. 総括

35. 総括

36. 総括

37. 総括

38. 総括

39. 総括

40. 総括

41. 総括

42. 総括

43. 総括

44. 総括

45. 総括

46. 総括

47. 総括

48. 総括

49. 総括

50. 総括

51. 総括

52. 総括

53. 総括

54. 総括

55. 総括

56. 総括

57. 総括

58. 総括

59. 総括

60. 総括

61. 総括

62. 総括

63. 総括

64. 総括

65. 総括

66. 総括

67. 総括

68. 総括

69. 総括

70. 総括

71. 総括

72. 総括

73. 総括

74. 総括

75. 総括

76. 総括

77. 総括

78. 総括

79. 総括

80. 総括

81. 総括

82. 総括

83. 総括

84. 総括

85. 総括

86. 総括

87. 総括

88. 総括

89. 総括

90. 総括

91. 総括

92. 総括

93. 総括

94. 総括

95. 総括

96. 総括

97. 総括

98. 総括

99. 総括

100. 総括

※以前の学習で「世界の民主主義指数」の図を用いた問題を出した際に、生徒は「日本は分野別評価の中で『政治参加』のスコアが低い」と答えていた。今回の授業で女性の政治参加について確認し、参政権などの基本的人権を確保するための権利の重要性について理解が深まった様子が見られた。

「人権の窓」ワークシート

## 実践例 11 栃木市立栃木第四小学校

教科・科目等 外国語活動（3学年）

### 本時の目標

好きなものをたずね合い、互いの違いを理解する。

### 育てたい資質・能力等

個性や文化の多様性などを知り、他者を思いやることの大切さを理解する。（知性）

教材 ピクチャーカード、「人権の窓」（外国人の人権編）（小学生用）

### 展開

●small talk で「私は誰でしょう？」クイズを行い、校長先生の好きなものの紹介を聞く。



●バスケットボール選手の画像を見ることをきっかけに、肌の色について考え、グループで意見交換をする。（前時までに行ったスポーツについての学習で、自作のピクチャーカードを使用して肌の色の違いについて触れた）



●教師とALTの会話を聞く。4人グループで、お互いに「What do you like?」の質問に答える。



←グループ活動の様子

ALT: What do you like?  
HRT: I like ~.  
ALT: Wow. Nice!

HRT: What do you like?  
ALT: I like ~.  
HRT: Wow. Me, too!

### 他の教科との関連

●音楽の授業で「聖者の行進」を学習した。アメリカ大陸で差別されてきた黒人の魂の解放の歌であることに触れた。

## 実践例 12 那須塩原市立共英小学校

教科・科目等 図画工作（2学年）

### 本時の目標

色の組み合わせを工夫して、自分の肌の色に近い色を作って塗ることができる。

### 育てたい資質・能力等

違いを認めることの大切さを知る。（知性）

教材 絵の具、画用紙、ペン、「人権の窓」（外国人の人権編）（小学生用）

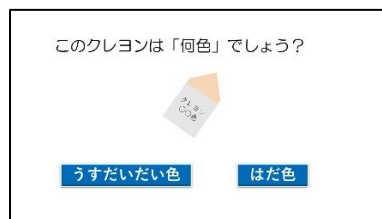
### 展開 （2時間で実施）

●手形をつくる。自分の肌の色を絵の具で作って塗る。



←児童の活動の様子

●肌の色は一色ではないことを知る。「人権の窓」を活用し、どの色も肌色であることや、肌色＝パールオレンジではないことを知る。



●手形の肌の色や形を並べ、色々な色や形があることを知る。

●肌の色の違いにより差別された女の子の話を聞く。

### 事後学習との関連

●学級活動において手形の花束の掲示物を作成し、教室背面に掲示した。

●校内人権週間期間中に本授業を実施し、校内放送や人権集会を通して「違いを認め合うことの大切さ」について、より考えを深めることができた。

作成した掲示物→



## 実践例 13 県立小山高等学校

教科・科目等 公民科・公共（2学年）

### 本時の目標

憲法で法の下での平等が保障されている一方、社会には様々な人権問題が存在することを理解することができる。

様々な人権問題について、自分たちができることや解決法を考えることができる。

### 育てたい資質・能力等

問題となっていることを具体的に知る。（知性）

人権問題を解決するための具体的な取組を考える。（実践力）

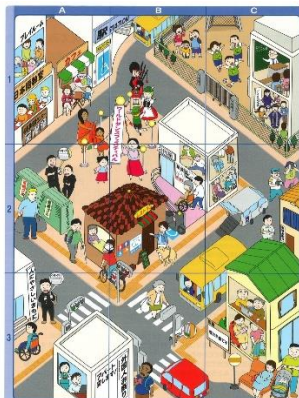
### 教材

教科書「高等学校 公共」、ワークシート、「人権の窓」（外国人の人権編）（高校生用）

### 展開

●「人権の窓」のイラストを見て、人権問題が起きていると思う箇所に○印を付け、その理由をワークシートに記入する。

●グループで出た意見を発表する。



活動の様子



●人権問題をグループで1つ選び、問題の解決に向けて自分たちができることや解決方法を考える。

ワークシート

「様々な人権問題について考えよう」（教科書P.104）

1. 下のイラストは「人権の窓」からの抜粋です。イラストを見て、人権問題が起きていると思う箇所に○印を付け、その理由をワークシートに記入しよう。

イラストの欄には、イラストの抜粋を貼り付け、その理由を記入しよう。

2. 1で決めた人権問題について、自分たちができることや解決方法を考えてみよう。

| 人権問題 | 自分たちができること、解決方法 |
|------|-----------------|
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |

5. 人権問題について一つ選び、自分たちができることや解決方法についてまとめてみよう。

| 人権問題 | 自分たちができること、解決方法 |
|------|-----------------|
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |

6. 他のグループで出た意見を書いておこう。

| 人権問題 | 自分たちができること、解決方法 |
|------|-----------------|
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |
|      |                 |

## 実践例 14 県立小山高等学校

教科・科目等 国語科・古典探究（2学年）

### 本時の目標

わかりやすい説明・質問・板書を考え、担当範囲を授業形式で発表することを通じて、文法事項の理解を深める。

個々人の長所を活かし協力するとともに、相手の心情に寄り添ったよりよい発表のための配慮を心がけ、筋道を立ててわかりやすく説明する。

### 育てたい資質・能力等

相手が理解しやすいよう論理的に説明したり、相手が説明しやすいように傾聴を心掛けたりすることができる。（技能）

教材 教科書（源氏物語）

### 展開

※発表までの時間を6時間とし、授業計画立案や教材研究を行う。個性を活かした役割分担を行い、黒板のレイアウトや発問について考える。

●生徒による授業を実施する。各班 20 分ずつで行う。



↑ 生徒による授業実践の様子

### 配慮事項

- 個々人の個性を理解し合い、それを活かし協力する。
- 相手の反応を見ながらより良い対応を工夫する。

### 授業者の感想（人権教育のねらいに即した感想）

- 反応が薄い時は、授業がやりづらかった。
- うなずいてくれるだけでも反応があると、授業を進めやすかった。
- 授業をやる側の気持ちがわかった。

| 授業計画書                              |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3                                  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 班                                  |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 実施日 2024年 12月 23 日(月) 6 時間目(前半)    |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 実施範囲 教科書 P80 E8～14 (「髪は」から「思へり」まで) |           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 過程                                 | 学習活動      | 指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 展開1                                | 本文実施範囲を群読 | 注意すべき読みを提示しながら判読し、その後群読                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 展開2                                | 本文 訳の説明   | 主語などを補いながら実施範囲内の訳をする                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 展開3                                | 本文内容      | 問一<br>「髪は頭をひろげたやうに」の主語はだれか聞く。<br>問二<br>「赤く」の文法的説明を生徒に答えさせる。<br>問三<br>「すなりなし」の文法的説明を生徒に答えさせる。<br>問四<br>主語はだれかを聞く。<br>係助詞「ぞや」を説明する。<br>問五<br>「給へる」の文法的説明を生徒に答えさせる。<br>誰から誰への敬意なのかも答えさせる。<br>問六<br>「尼君の見上げたるに」の主語はだれか聞く。<br>問七<br>生徒に質問する前に「なんめり」と書く。<br>「なんめり」の文法的説明を生徒に答えさせる。<br>問八<br>「給ふ」の文法的説明を生徒に答えさせる。<br>誰から誰への敬意なのかも答えさせる。<br>問九<br>「ものを」の文法的説明を生徒に答えさせる。 |

↑ 生徒による授業の「授業計画書」



## 実践例 16 県立小山高等学校

教科・科目等 英語科・英語コミュニケーションⅠ（1学年）

### 本時の目標

インドのスラム街に住む、または住んでいた過去のある子どもたちが発行する英字新聞 Balaknama の見出しを読み、インドのスラム街の状況を推察する。

子どもたちの基本的人権が守られていないことを英文から読み取り、基本的人権がないことで受ける不利益、もし自分がその立場だったら、ということを想像し、解決策の糸口を考える。

### 育てたい資質・能力等

人権にかかわるさまざまな問題を正しく認識する。（知性）

他者の心情を想像する力や、自分の考えについて筋道を立てて話したり、話の趣旨を正しく理解しながら聞いたりする力を養う。（技能）

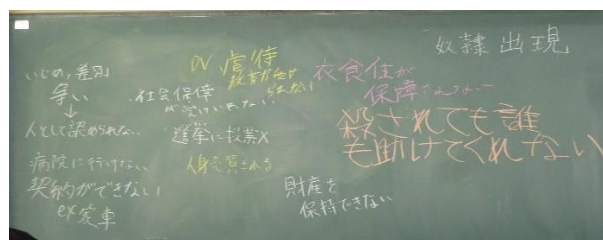
教材 ワークシート、教科書

### 展開

●Balaknama が発行された経緯や、同世代の若者たちがどのような思いで作っているか、その存在意義をリスニングクイズとオーラルイントロダクションで確認する。

●Balaknama の見出しを読んで日本語に直し、どのような内容かを推測する。

●「基本的人権が守られているかどうか」を話し合い、「それが守られていないとどのような不利益があるか、何ができないか」を自分たちの生活と照らし合わせて考える。



↑ワークシート

●「もし、自分がこのような状況に置かれたらどのように感じるか」を想像し、同世代の若者の人権について考える。

●「もし自分が〇〇だったら、このような策をする」を話し合い、英文で提案する。

●各班の考えを聞き合い、様々な解決策について理解を深める。

## 実践例 17 県立佐野高等学校附属中学校

**教科・科目等** 道徳 異文化の人々と共に生きる（1 学年）

### 本時の目標

異文化を社会の中の多様性と捉え、相互理解の大切さを知る。

### 育てたい資質・能力等

異文化を社会の中の多様性として捉える。（判断力、感受性）

**教材** 教科書、ワークシート、スライド

### 展開

- 本校の特徴の、佐野・足利・栃木市のさまざまな小学校から進学してくる点を生かし、「組み分けじゃんけん」のかけ声が出身校によって違うことで文化の違いが身近であることを確認する。
- 教科書を読んで、「文化に関わらず、考えのすれ違いは起きること」「文化が原因で考えのすれ違いが起きることがあること」を確認する。
- どうすれば異文化の人々と共生できるか考えてワークシートに書く。
- 組み分けじゃんけんのかけ声を揃えるときにしたことと共生のコツはあまり変わらないことに気付く。



### 生徒の意見・感想

- 外国の文化が怖いと感じることのある生徒がいたが、国ではなく個人を見て接したいと思うようになった。
- すれ違いがあってもすぐに怒らずに、相手と対話することで思いやりや考えをすり合わせて生きていきたいという意見に賛同する生徒が多く見られた。



## 実践例 19 県立黒磯高等学校

教科・科目等 家庭科・家庭基礎（1 学年）

### 本時の目標

社会、地域で支え合って生きるためにどのような行動をすれば良いのかを考える。

### 育てたい資質・能力等

社会、地域で生活する一員として、外国人とどのように関わると良いのか考える。（実践力）

教材 教科書、「人権の窓」（外国人の人権編）（高校生用）、ワークシート

### 展開

- 社会の一員としての役割、互助・共助について振り返る。
- 「人権の窓 外国人編」の 2.考えようをグループごとで話し合う。

**「ゴミ捨てのルール」どう伝えますか？**

次のマンガを読んで、外国から来日したばかりのBさんの思いを考えましょう。



2の始めに戻る

次へ

社会教育指導資料「『参加体験型学習』で考える身近な人権」より（平成29年）

2.考えよう  
「ゴミ出しのルールどう伝えますか」のイラストを見て、次のことを考えてみよう。

|                            |                |
|----------------------------|----------------|
| ① 外国人 Bさんは、何に困ってる？         | ② 近所の人は何に困ってる？ |
|                            |                |
| ③ 外国人 Bさんと、どのように関わるといいと思う？ |                |
|                            |                |

↑ワークシートの一部

- グループごとに話し合ったことを用いて、Bさんとの関わりについてグループ内でロールプレイをする。
- 「人権の窓」（外国人の人権編）（高校生用）でまとめをし、ワークシートに感想を記入する。



話し合いの様子

### 生徒の感想

- コミュニケーションの大切さを改めて感じた。
- これからも外国人の方が増えていくので、お互いを尊重できるように頑張りたい。